

【担当者名】 巻 康弘 maki@hoku-iryo-u.ac.jp ○片山 寛信 志水 幸 大友 芳恵 福間 麻紀 中田 雅美
近藤 尚也 松本 望 (主担当者、○副担当者)

【概要】

23日以上かつ180時間以上、社会福祉施設・機関等に配属されて行われるソーシャルワーク実習を効果的に進めるため、北海道ブロックの「実習教育・指導に関する指針」に基づき、事前教育、訪問指導、事後教育の各段階に分けて実施される。実習指導は全体指導とグループ指導の形態で展開される。

【学修目標】

ソーシャルワーク実習は、日本ソーシャルワーク学校連盟北海道ブロック統一の実習評価表に基づき、次のような学習目標が設定される。

- 基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係形成能力を育てる
- 利用者理解とそのニーズ把握及び支援計画の作成能力を育てる
- 利用者やその関係者（家族・親族、友人等）との援助関係の調整能力を育てる
- 利用者やその関係者（家族・親族、友人等）への権利擁護および支援（エンパワメントを含む）とその評価をする能力を育てる
- 他職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチに関わる能力を育てる
- 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営に関わる能力を育てる
- アウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発の能力を育てる
- 職業倫理、施設、事業者、団体等の職員の就業などに関する規定理解と組織の一員としての役割と責任を遂行する能力を育てる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ソーシャルワーク実習の意義と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・本実習・実習指導の意義と目的を説明できる。 ・本学実習教育におけるSW実習の位置付けが説明できる。 ・本実習における実習要綱・実習の手引き・実習報告書等の活用方法が説明できる。 ・実習配属先を説明できる。 ・年間計画・評価方法を説明することができる。 ・実習前評価システムを説明することができる。 編入生には、事前にオリエンテーションを行う。	巻、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
2	実習契約と実習評価	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道ブロックにおける実習システムが説明できる。 ・実習三者・四者関係が説明できる。 ・臨床参加型実習とは何かを説明できる。 ・実習委託契約書と指導に関する合意書、実習教育・指導に関する指針の位置づけと内容が説明できる。 ・実習契約における実習生の権利と義務が説明できる。 ・実習評価表と指導上のポイントの要点を説明できる。 	巻、中田、近藤、松本、片山
3	グループ学習オリエンテーションと実習計画書	<ul style="list-style-type: none"> ・実習グループの進め方が説明できる。 ・実習評価表と指導上のポイントを説明できる。 ・実習3段階モデル（職場・職種・SW理解）が説明できる。 ・実習計画書の記載方法が説明できる。 	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
4	実習コンピテンスとCBT(知識試験)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習コンピテンス習得の意義が説明できる。 ・実習コンピテンス・アセスメントと自己学習計画書の記載方法を説明できる。 ・CBT（知識試験）の評価方法が説明できる。 ・体調管理と感染対策の方法が説明できる。 	松本、下山、中田、近藤、片山、巻
5	OSCE（客観的臨床能力試験）	<ul style="list-style-type: none"> ・OSCE（客観的臨床能力試験）について説明できる。 ・OSCEの概要が説明できる。 ・OSCEスケジュールが説明できる。 	片山、巻、大友、福間、中田、近藤、松本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・試験項目（インテーク面接）の説明ができる。	
6	OSCE（客観的臨床能力試験）	OSCE（客観的臨床能力試験）について説明できる。 ・試験項目（アセスメント報告）の説明ができる。 ・試験項目（実習日誌記載・提出）の説明ができる。 ・実習日誌の様式と書き方が説明できる。	巻、大友、福間、中田、松本、近藤、片山
7	分野特性とソーシャルワーク理解	・文献や事前訪問等により分野特性を説明できる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
8	実習計画書指導	・実習計画書をもとに、実習における実習行動計画を説明できる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
9	分野特性とソーシャルワーク理解	・文献や事前訪問等により分野特性を説明できる。 ・実習計画書を基に、実習課題を説明できる。 ・スーパーバイザーとして必要な対応ができる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
10	OSCE（客観的臨床能力試験） （講目～講目）	OSCE（客観的臨床能力試験）。 ・適切なインテーク面接ができる。 ・適切にアセスメント報告ができる。 ・実習日誌を適切に記載することができる。	向谷地、大友、巻、福間、奥田、中田、下山、高橋、池森、近藤、松本、片山、鈴木
11	分野特性とソーシャルワーク理解	・文献や事前訪問等により分野特性を説明できる。 ・実習計画書を基に、実習課題を説明できる。 ・スーパーバイザーとして必要な対応ができる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
12	CBT試験（知識試験）	・実習に必要な知識が解答することができる。 CBT（知識試験）50問～100問、アンケート。	松本、中田、近藤、片山、巻
13	知識・技能の習得状態の確認 （OSCE・CBT結果発表）	・OSCEとCBTの結果（ペーパー等で返却）が確認できる。 ・OSCEのDVD視聴を通じ、習得課題を具体化できる。 ・ソーシャルワーク実習打合せ会の留意事項が説明できる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
14	実習計画書指導	・実習計画書をもとに、実習における実習行動計画を説明できる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
15	OSCE（予備日）	・適切なインテーク面接ができる。 ・適切にアセスメント報告ができる。 ・実習日誌を適切に記載することができる。 OSCE不合格者、未受験者の追・再試験。	大友、巻、福間、中田、近藤、松本、片山
16	実習計画書指導	・実習計画書をもとに、実習における実習行動計画を説明できる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
17	CBT（予備日）	・実習に必要な知識が解答することができる。 CBT（知識試験）50問～100問、アンケート。 不合格者、未受験者の再試験	中田、近藤、松本、片山、巻
18	ソーシャルワーク実習打合せ会 （会場：ポールスター札幌）	SW実習関係三者により実習に向けた打合せができる。 ・本学の実習教育体系の説明。 ・OSCE・CBT実施内容の説明。 ・学生の事前教育状況の説明（グループ毎）。 ・学生による実習計画書の説明。 ・実習指導者による実習計画書の指導。	志水幸、大友、巻、福間、中田、近藤、松本、片山
19	分野特性とソーシャルワーク理解	・実習指導者とのスーパービジョン内容を説明できる。 ・文献や事前訪問等により分野特性を説明できる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
20	ソーシャルワーク機能と地域特性理解	・レジデンシャルソーシャルワーク機能の説明できる。 ・地域特性の把握方法について説明できる。	近藤、中田、片山
21	事例研究（個別援助の理解・地域福祉支援研究）	・実習で取り組む事例研究（個別援助、地域福祉研究）の方法が説明できる。	福間、中田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・実習における援助展開の試行・実施経験と事例研究の関連性を説明できる。	
22	実習における事例研究(個別援助の理解・地域福祉支援研究)の展開	・実習計画における事例研究の実施方法を説明できる。 ・実習施設における事例研究の展開例が説明できる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
23	実習日誌の記載方法と事前訪問	・OSCE(実習日誌)を基にしたスーパービジョンを通じて、適切に実習日誌を記載することかできる。 ・事前訪問における留意事項を説明できる。 ・自己学習計画書を基にした実習までの自己学習計画を説明できる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
	事前訪問	実習施設を直接訪問することで、新たな問題意識の醸成、実習計画書の(再)指導、実習プログラムや必要な打合せ等を行い本実習に備える。 (夏期休業中に、実習施設の事前訪問を必須とする)	
24	事前訪問実施結果報告と実習日誌	・実習計画書(完成版)に向けたスーパービジョンができる。 ・実習日誌の適切な記載方法を説明できる。 ・実習中の訪問指導・帰校日指導日程等が説明できる。 ・実習評価表を基に、実習における取り組むべき項目を説明できる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
25	専門職倫理と感染対策	・後期の授業計画が説明できる。 ・専門職倫理と社会福祉士倫理綱領の要点が説明できる。 ・実習時の留意事項、連絡先、保険等の要点を説明できる。 ・実習中の健康管理と感染対策指針が説明できる。 ・訪問指導の記録、出勤簿等の様式・提出方法が説明できる。 ・実習報告会運営体制(委員選出)を検討できる。	大友、下山、巻、福間、中田、近藤、松本、片山
26	実習前スーパービジョンと実習日誌	・実習課題をグループ学生と共有することができる。 ・実習日誌を適切に記載することができる。 ・お礼状の書き方や適切な時期が説明できる。	巻、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
		ソーシャルワーク実習開始(9月8日~10月23日迄) 実習期間:23日間以上・180時間以上 教員の訪問指導は週1回の予定(訪問指導及び帰校日指導の形態で実施) 一部の実習施設・機関は日程の変更有り	
27 (30	教員の訪問指導 (学生の帰校日)	学生、実習指導者、担当教員の実習関係三者による面接及び実習指導)。(学内の実習指導)。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
31	実習事後オリエンテーション	・実習後の授業予定が説明できる。 ・実習後アンケートを提出できる。 ・自己チェックリストを加えた実習報告書の記載形式・内容を説明できる。 ・実習報告会の運営等について説明できる。	大友、巻、福間、中田、近藤、松本、片山
32	実習成果・課題の共有と実習後グループ指導	・実習経験(ディレンマ体験含む)を振り返り、成果と課題が説明できる。 ・実習機関への提出物・礼状の発送状況を報告できる。 ・実習報告会準備・実習報告書指導スケジュールが説明できる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
33	実習成果と課題の共有と検討	・実習経験(ディレンマ体験含む)を振り返り、成果・疑問・課題などが説明できる。 ・事例研究(個別援助の理解・地域支援の理解)等をもとにした事例検討等ができる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
34	実習成果と課題の共有と検討	・実習経験(ディレンマ体験含む)を振り返り、成	巻、志水幸、大友、福

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		果・疑問・課題などが説明できる。 ・事例研究（個別援助の理解・地域支援の理解）等をもとにした事例検討等ができる。	間、中田、近藤、松本、片山
35	実習成果と課題の共有とプレゼンテーション準備	・事例研究（個別援助の理解・地域支援の理解）等をもとにした事例検討等ができる。 ・実習成果と課題の共有とプレゼンテーション準備を行うことができる。（実習報告会の準備）等。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
36	実習成果と課題の共有とプレゼンテーション準備	・事例研究（個別援助の理解・地域支援の理解）等をもとにした事例検討等ができる。 ・実習成果と課題の共有とプレゼンテーション準備を行うことができる。（実習報告会の準備）等。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
37	プレゼンテーション（SW実習報告会リハーサル）	・実習報告会に向けたプレゼンテーションの準備ができる。 （ソーシャルワーク実習の報告会のリハーサル）。	片山、中田、近藤、松本、巻
38 ） 39	2021年度ソーシャルワーク実習報告会(全体会・分野別意見交換会) 講目～ 講目	・実習体験とグループとしての考察をプレゼンテーションできる。（ソーシャルワーク実習の報告） ・学生・実習指導者・教員の実習三者によるソーシャルワーク実習及び実習報告を省察し、検討することができる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
40	実習報告書の作成指導	・実習報告会(全体会・分野別意見交換会)を通じた気づきや今後の課題を説明ができる。 ・実習指導者の実習評価を基にした振り返りを行うことができる。 ・実習報告書(自己チェックリスト含む)をもとに、自らの実習の成果と課題をプレゼンテーションすることができる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
41	実習報告相互交流会(2・3年生合同)	・ソーシャルワーク実習の意義を2年生に説明できる。 ・分野毎のソーシャルワーク実習の特性を説明できる。 ・次年度SW実習に向かう学生らに適切な助言ができる。	大友、巻、福間、中田、近藤、松本、片山
42	実習報告書の作成指導	・実習報告書(自己チェックリスト含む)をもとに、自らの実習の成果と課題をプレゼンテーションすることができる。 ・実習日誌・出勤簿・学生用訪問指導記録について、担当教員の確認を受ける。	巻、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
43	地域における分野横断的な連携と協働	・地域が抱える問題解決を共有することができる。 ・地域が持つストレングを指摘することができる。 ・地域住民、関係者、関係機関が、連携・協働した活動を検討することができる。	大友、巻、福間、中田、近藤、松本、片山
44	実習報告書の作成指導	・実習報告書(自己チェックリスト含む)について、教員の最終確認を得て、提出することができる。 ・実習報告書(自己チェックリスト含む)を実習施設・機関に郵送することができる。	巻、志水幸、大友、福間、中田、近藤、松本、片山
45	全体のまとめ	・社会福祉士資格を有するソーシャルワーカーにとって必要となる人権感覚と実践力について、自らの考えを述べることができる。 ・4年生の各専門実習、国家試験に向けた取り組みが説明できる。 ・教員からのメッセージを受け取ることができる。 実習日誌、学生用訪問指導記録返却。 北海道ブロックのアンケート。授業評価アンケート。	大友、巻、福間、中田、近藤、松本、片山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

1. ソーシャルワーク実習指導評価

(ア) グループ参加態度 10点

(イ) OSCE・CBT評価 計50点

OSCE 30点

CBT 20点

(ウ) 記録物(すべての記録物が提出されていない場合は0点とする)40点

実習計画書(2回分)

実習コンピテンス・アセスメントと自己学習計画書(3回分)

訪問・帰校日指導記録(4回分)

実習報告書(紙面・データ)

全体講義及びグループ指導欠席時に担当教員から指示する課題(出席扱いとするものではない)

2. ソーシャルワーク実習前評価

次の(ア)~(ウ)のすべての項目を満たした場合に実習配属とする。

(ア) 出席状況(実習打ち合わせ会の前々週までの出席状況の評価)

全体指導 ○回の7割以上の出席

グループ指導 ○回の7割以上の出席

(イ) OSCE・CBT

OSCE:合格基準 6割以上

CBT:合格基準 6割以上

(ウ) 期間内提出を指示された下記すべての記録物・課題の提出。

実習計画書(第一版)

実習コンピテンス・アセスメントと自己学習計画書

欠席時課題

その他指示された課題

基準を満たすことが困難な場合は、実習配属中止とする。

【教科書】

(全学生) 社会福祉実習要綱

(全学生) 社会福祉実習の手引き

(全学生) 実習コンピテンス・アセスメント。

(保健医療分野実習学生用教科書) 『保健医療機関における社会福祉実習～実践の実習マニュアル』(一社)北海道医療ソーシャルワーカー協会。

【参考書】

必要に応じて提示する。

【備考】

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「相談援助実習指導」に該当する。教職課程(福祉)では、教科に関する科目の「社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)」に該当する。

【学修の準備】

次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2、3

【実務経験】

巻 康弘(社会福祉士)、大友 芳恵(社会福祉士)、福間 麻紀(社会福祉士)、奥田 かおり(ソーシャルワーカー)、中田 雅美(社会福祉士)、近藤 尚也(社会福祉士)、松本 望(社会福祉士)、片山 寛信(社会福祉士)。

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関、社会福祉施設・機関でのソーシャルワーカー・社会福祉士等としての、実践経験を通じて得た、価値・知識・技術・態度などを活用し、実践的な教育を行う。